



しんわ

No.149

春季号

2025年

I H I
播磨病院



＊理事長挨拶

＊リハビリテーション・栄養・

口腔連携体制加算について

＊相生市のルーツ矢野荘は日本史の宝石箱

＊新人紹介



理事長挨拶

令和7年4月1日

新年度を迎え、一言ご挨拶申し上げます。

百周年記念で植樹した「しだれ梅」の花が3月中旬にやっと満開になりました（写真①）。今年は3月になっても雪が降るほどの寒い日が続き、昨年より遅い春です。桜の開花もそろそろという感じです。



理事長・病院長

西川 梅雄



写真① 当院敷地内にある百周年記念植樹しだれ梅。3月20日（木）撮影。

昨年末～年始は土日を入れて最大9日連休で、休日・祝日・時間外受診の患者さんが多くて大変でした。日・当直、待機の先生方に感謝申し上げます。

西部医師会連合会（阪神、神戸地区以外の全県下の医師会）でも話題になっていました。

休日当番医や医師会の運営する休日診療所に患者さんが殺到しました。相生や上郡の医療機関はまだましで、姫路市や明石市の休日診療所ではなんと1名の医

師が100名を超える患者さんを診る、あるいは「待ち時間」が最大7時間半という患者さんもあり、大変ご苦労されました。公立病院でも連休9日間のうち1日＝12月30日（月）は病院を開けたところもあります。今後このような長い連休になった場合、当院も何らかの対処をしなければならないと思いました。

昨年7月3日に20年ぶりの新紙幣が発行されました。

千円札は北里柴三郎で、破傷風菌の純粋培養と血清療法の開発、ペスト菌を発見した微生物学者として有名です。第1回ノーベル医学・生理学賞の最終候補者15名のうちのひとりにまで選ばれています。案外知られていませんが日本医師会初代会長でもあります。

五千円札は津田梅子で、日本人女性として初めて米国留学した人ですが、津田塾大学創始者として有名です。私は、中学時代にあまり褒められたことがないのですが、社会科の先生が「西川君ええ名前やなあ。津田梅子というえらい人がおって、津田塾大学を創った人と君は同じ名前や。」と言われ、男と女ではだいぶ違うやろと思いつつも何となく社会科（特に歴史や地理）が好きになりました。しょうもない話ですが勉強、学業成績ではなく名前で褒められるとは思いませんでした。単純な私は、丸暗記科目でしたが興味を持って勉強して中学時代は社会科だけはいつも5（1, 2年は5段階評価）か10（3年時は10段階評価）でした。いまだに地図帳をぼーっと見たり歴史を調べるのが大好きです。

そして壹万円札は渋沢栄一です。彼は日本近代経済の父と称され、多くの企業創設や社会事業に関わった明治時代の実業家です。名言の一つに「四五十は湊垂（はなた）れ小僧、六十、七十は働き盛り、九十になって迎えが来たら、百まで待てと追い返せ。」というのがあります。私も斯（か）くありたいと思います。それと何の関係もないのですが、渋沢家の家紋「丸に違い柏」が私ども西川家の家紋と同じです。

私にとってなんとなく親しみの持てる新札ですが、先日当直に来た若い先生と話したら、現金は最近使ってない＝持っていないということです。スマホ（それも時計みたいなやつ）でほぼすべての生活ができているということでした。徐々に紙幣や貨幣を使わない時代になっていくのでしょうか・・・。

ところで新幹線のドクターイエローを見たことありますか？ 私は昨年から今年にかけて、兵庫県医師会の用事で神戸市の県医師会館への往還（おうかん＝

往復)で、写真②、③のように新神戸駅と相生駅でそれぞれ見ることができました。正式には「新幹線電気軌道総合試験車」=「923形(がた)」という名称がつけられています。「9」は事業用車、「2」は試験車、「3」は東海道・山陽新幹線の電気・軌道検測車であることを表しています。700系電車をベースに開発され、1編成7両で運用されています。

計測は「のぞみ検測」(10~14日に1度、のぞみと同じように走行して検査。)と「こだま検測」(1~2か月に1度、こだまと同様各駅に停車して検査する。)があります。いずれも2日間かけて東京ー博多間を1往復します。

ただしJR東海では今年1月29日に計測走行は終了、JR西日本も2027年をめどに引退することになっています。そのあとはN700S系車両に搭載された検査機能で代替するとのことでした。

ドクターイエローを見たら幸せになる」と言われていますので、この「しんわ」の記事を読んだ人には「幸せのおすそ分け」があるかもしれません。

今年度、IHI播磨病院にも何か良いことがあれば幸いです。

これからも相生市を中心とする西播磨地域の皆様の健康を護るべく努力して参ります。倍旧のご指導ご鞭撻とご協力を賜りますようお願いいたします。皆様のご健康とご多幸と益々のご発展を祈念申し上げます。

合掌。



写真② ドクターイエロー。R6年10月12日(土)新神戸駅停車中。



写真③ ドクターイエロー。R7年2月8日(土)相生駅通過中。

リハビリテーション・栄養・ 口腔連携体制加算について

リハビリテーション科科长 松田 航

皆さん「リハビリテーション・栄養・口腔連携体制加算」という加算が昨年度新設されたのをご存知でしょうか？

この加算は、より早期からの切れ目のないリハ（離床）・栄養・口腔の取組・疾患別リハビリテーション等の提供によるADL等の改善・休日に行うリハビリテーションの提供・入棟後早期のリハビリテーションの実施・病棟専任の管理栄養士による早期評価と介入や多職種による評価と計画を行う事で、入院患者の「医原性の寝たきり」発生を防止することを目的とした加算です。当院でも昨年10月から4F病棟のみになりますが、算定を開始しました。

この栄養管理や口腔管理といったことは、一昨年前に行かせていただいた病院学会でも主要なテーマになるなど最近注目されている部分であります。

これを算定するにあたり、リハビリ職の専従と専任は1日の算定単位数が9単位までになるなどデメリットの部分もありますが、これを実施することで入院直後から積極的にかかわり、より良い状態で退院を迎えて頂き、収益面だけでなく満足度も高めたいと思っています。

【算定要件】（一部抜粋）

- ・ リハビリテーション・栄養・口腔連携体制加算（1日につき）120点
- ・ 患者1人につき計画を作成した日から起算して14日を限度に算定できる。
- ・ 原則入棟後48時間以内にADL、栄養状態、口腔状態についての評価に基づき、リハビリテーション・栄養管理・口腔管理に係る計画を作成。
- ・ 入院患者のADL等の維持、向上等に向け、カンファレンスを定期的に開催。
- ・ 専従のPT等は全ての入院患者に対するADLの維持、向上等を目的とした指導を行う。

【施設基準】（一部抜粋）

- ・ 当該病棟に、専従の常勤PT、OT又はSTが2名以上配置。※1名は専任でも可。
- ・ 当該病棟に専任の常勤管理栄養士が1名以上配置。
- ・ 当該保険医療機関において、リハビリテーション医療に関する3年以上の経験を有し、これに係る研修を修了している常勤医師が1名以上勤務。
- ・ 入棟後3日までに疾患別リハ料が算定された患者割合が8割以上。
- ・ 土日祝日における1日あたりのリハビリテーション提供単位数が平日の8割以上。
- ・ 退院又は転棟時におけるADLが入院時と比較して低下した患者の割合が3%未満。

相生市のルーツ矢野荘は 日本史の宝石箱

院長補佐 西田 英之

矢野荘（やののしょう）についての記録が残る東寺百合文書が世界記憶遺産に登録されて今年で10年になります。考古学者にとって多くの記録が残る矢野荘は日本史の宝石箱とも言われ、荘園研究の中心地となっています。荘園は日本の原風景とも言われ、公家や寺社、武家などの支配層の私有農園で農業生産力向上や貨幣流通に寄与しました。奈良時代に始まり平安後期から増大し、鎌倉時代以降、武士勢力に浸食されながらも存続し応仁の乱（1467年）後に終焉を迎えます。



写真1 矢野荘政所周辺と三重の堀切で有名な下土井城山

矢野荘は荘園がそのまま、相生市になっています。相生市北部の矢野川流域は、肥沃な条里制の耕地であり、政府の土地「国衙領」として管理されていました。美福門院は自分の地位にものを言わせ国衙領を取り込み、自分の荘園にしようとし1137年、鳥羽上皇の院庁はこれを認め「皇室領矢野荘」が成立しました。

矢野荘の主な歴史として1075年 赤穂郡司秦為辰が未開の南部「久富保」の開発を開始1137年「皇室領矢野荘」が成立。その後、美福門院から娘の八条院



写真2 矢野荘の荘鎮守下土井大避神社

へ継承1160年 八条院が例名（矢野・若狭野 6 割+那波・相生）と別名（矢野・若狭野 4 割）に分割 1221 年承久の乱後 海老名氏が新補地頭として赴任。年貢徴収をめぐって領家、預所と紛争が起こり1297年 例名の領家と地頭は下地中分を行うことで合意（西側は領家方、東側は地

頭方) 1300年 別名を亀山上皇が南禅寺に寄進1313年 例名の領家方を後鳥羽上皇が東寺に寄進。東寺は、鎌倉時代末期から室町時代まで例名の領主として経営にあたり記録を保存。相生市立歴史民俗資料館には矢野荘に関する資料があり遺産登録10周年記念の講演会も開催予定です。

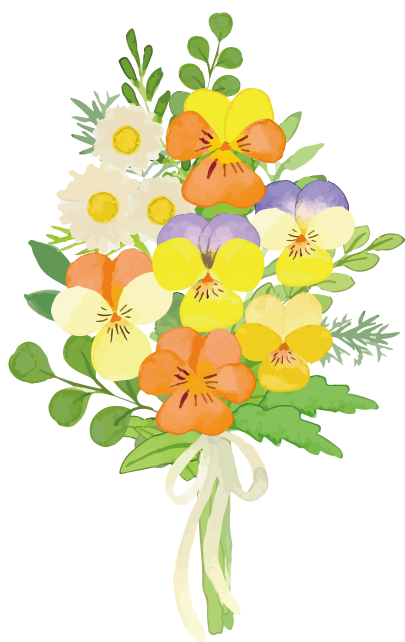


写真3 下土井大避神社2024秋祭り